

爆撃の碑建立募金ご協力のお願い

全国的に「京都は文化都市、爆撃を避けた」・「京都は爆撃をされなかった都市」の通説が広がっています。多くの人たちがそれを信じておられます。実は、それは真っ赤なウソ、東山区馬町（昭20年1月16日）と西陣（同年6月26日）の2ヶ所が爆撃され、いずれも50名を超える死者、数百単位の負傷者と被爆家屋はがでました。両方共、兵舎や軍需工場の一つもない町にです。更に恐ろしいことは「原子爆弾投下の目標都市」だったから爆撃を避けたとの資料がでました。

先の通説は、米軍が日本占領に当たって、数々の「無差別爆撃」を希釈する、抵抗なく占領政策を進める為に、意識的に流したものとされます。戦争とは、美術芸術を特別に保護をするようなものではありません。非道で無差別に「敵」を倒し「勝つ」だけが目標でしょう。戦勝国も敗戦国も共にそのために戦ったのです。

その非道な戦争を忘れない繰り返さないには、その悲惨な記憶を子々孫に伝えていくことが大切。そのためにそれがあった場所（馬町）に、その『証』を残さないとい何時の日にか『風化』し忘れられるでしょう。

そこで被爆地の修道学区から「馬町爆撃の碑」建立しようとの声が出て『会』がつくられ、4度討論会などを開いて、来年、爆撃された同日（1/16）に「序幕式」が出来るよう「碑」づくりに向って進めてきました。その間、場所は元東山小学校（爆撃当時は修道国民学校）現白河特別支援学校東山分校の校地内に、ご内定を戴きました。

今残るは、建立などの費用問題になります。碑は『京都は爆撃を避けた』と『ウソ』を打ち破り、同時に、平和な市民生活の町を襲った『戦争非条理』を伝え残す目的です。その目的をご理解賜わり、お一人でも多くの方の参加で「建立資金」を集めたいと思っています。是非ご賛同と募金のご協力をお願いします。

このチラシに「募金の振込用紙」を添えております。皆様と皆様のご存知の方々にもご協力を頂戴したくお願い申あげます。

尚、勝手ですが「振込み料」はご負担ください。

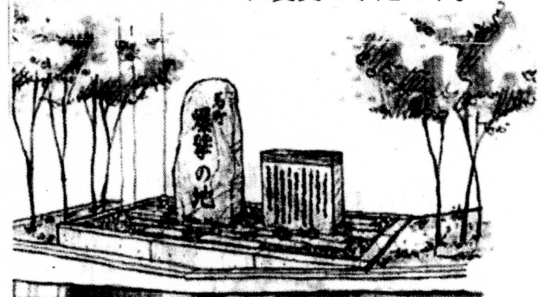
又、「振込み票控え」でなく「正式の領収書」をご入用のお方は、「振込取扱票」のお名前後ろに「要」とご記入下さい。後日郵送でお送りいたします。

平成25年10月19日

下の絵はイメージ図です

記入文字は『馬町被曝之(の)地』

に変更の予定です。



馬町爆撃を語り継ぐ会：

会計担当 酒谷義郎（文責）

FAX：075-561-9821

会：仮事務所：〒605-0877 東山区上新シ町367：

宮田昌幸様方